

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年9月18日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100929		
法人名	有限会社 大樹		
事業所名	グループホーム 大樹	ユニット名	1号館
所在地	〒311-3106 茨城県東茨城郡茨城町越安1993		
自己評価作成日	平成27年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成27年10月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873100929-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873100929-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年3月20日	評価機関 決済日	平成27年9月18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・自然豊かな環境の中でその人らしさを大切にできているかと、職員間で日常的に話し合い、共有出来ていると感じている。  
・開設以来インフルエンザやノロウイルス等の感染症を事業者内で発症させておらず、今後も対策へ力を入れていきたい  
・理念に合わない対応があった場合は職員間でお互い注意出来る関係が目標である。  
・御家族、友人、親戚等の面会が頻繁にあり、利用者への想いを日々感じて介護に従事出来る事。  
・代表者が無農薬野菜や米等を栽培し、食卓に提供し食の安全に努めている。  
・利用者の個室は全室南向きになっていて日当たりは良く、真冬でも日中は暖かく過ごしやすい環境である。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者や職員は、地域密着型サービス事業所のあるべき姿をしっかりと捉えながら地域との連携に取り組み、理念にある「人格を尊重し、安心と信頼の介護」とは何かを常に念頭に置いて利用者本位の支援を行なっている。  
代表者が栽培した無農薬野菜が毎日届き、利用者や職員の食の楽しみになっている。  
事業所の敷地内にはプラムやさくらんぼ、イチジク、柿などが植樹されており、日々果実の成長を楽しみながら収穫時期には皆で味わうなど、豊かな自然の中で暮らせる環境となっている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護をして行く上で理念を基本とした介護が最も大切であり理念にあわない対応があった場合は職員間で注意し、理念を再確認した上で取り組んでいる	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を玄関や居間兼食堂に掲示し、日々の支援の中で理念を共有し実践に結びつけている。理念にそぐわない対応があった場合には、職員同士で話し合い、理念に基づいた支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所周辺は地域の方の花や野菜畑が多く、日常的に顔を合わせる事も多く、散歩の際などは花や野菜など頂いたりしている	地域住民が犬の散歩時に事業所に立ち寄りたり、野菜のお裾分けを頂くなど、日常的に交流している。 事業所主催の花見やバーベキューに地域住民を招待したり、フラダンスや腹話術、寸劇などのボランティアが来所するほか、クリスマス会では社会福祉協議会から無償で借りた綿あめ機を活用し、たこ焼きや焼きそばなども提供して地域の子供達と利用者の交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区内のコミュニティーセンターで認知症理解へのセミナーを開催させて頂いた 地区内の利用者が入居され地区の友人、知人が定期的に面会に来て下さり、ホームでの取り組みなどを理解して頂いている	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の区長、民生員、老人会長、家族の代表、町福祉課の方より参加を頂き、ホームの取り組み内容を報告し、意見を参考に進めている 2ヶ月に1回実施している	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、町職員や区長、民生委員、老人会長の参加を得ているが、利用者や家族の参加を得るには至っていない。 会議では運営状況や空き状況、利用者の状況報告を行っており、参加メンバーからはサービス向上に向けた具体的な意見や要望などを受けているが、達成するには至っていない。	利用者や家族等の会議への参加を呼びかけるとともに、運営推進会議で出された具体的な改善課題の解消に向け、継続的に取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	利用者の手続きや事業推進にあたり、町の担当者と電話や往来する等、連携を取れる体制を作り取り組んでいる	運営推進会議には市担当者の参加があり、日頃から事務長は市に直接出向いたり、電話等で担当者に事業所の運営状況や空き情報を報告するとともに、介護保険制度の相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束は行わない」また身体拘束ゼロを目指し全ての職員が認識し介護にあっている なお玄関に身体拘束排除宣言書を作成し表示している また日中は玄関等にも鍵を掛ける事はせず見守りをしながら、当たり前の自由な暮らしが出来るよう支援している	身体拘束を行わないことを契約書や重要事項説明書に明記し、入居時に利用者と家族等に説明するとともに、やむを得ず身体拘束を行なう場合の同意書等の書類を備えている。 管理者や全職員は「当たり前の自由な暮らしができるように支援する」ことを念頭におき、日々身体拘束の内容とその弊害を理解して身体拘束をしないケアに努めている。 玄関は日中施錠をせず、利用者が自由に行き来している。 やむを得ず身体拘束を行なう場合に備え、同意書等の書類を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に基づき研修やセミナー等に参加し、全職員が理解し虐待が見過ごされないように防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し必要な場合には関係者に相談できる体制を取っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項を説明し事業所で出来る事を明確に説明する ご家族からの疑問点を引き出し急変時または重度化について説明し同意を得るようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不満や苦情等は日頃から対話を重ね聞き出せるよう努めている またご家族にも苦情、要望等が気軽に出せるよう意見箱を設置している 年に1回アンケートを実施している	管理者や職員は、利用者からは日々の会話から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くように努めている。 玄関内に意見箱を設置するとともに、家族アンケートを実施しているが、意見や要望等はなく感謝の言葉が書かれている。 利用者から「花が見たい」との要望があり、手作りお弁当を持参して花見に出かけている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションを取り、要望等聞くよう心がけている	管理者は毎朝の申し送りのほか、日々の業務の中でも職員の意見や提案を聞く時間を設けている。 申し送りノートの内容が分かりづらいとの意見を受け、誰が読んでも理解できるよう詳細に記載するなど、運営に反映している。 職員会議での課題や議題が1項目程度で、全職員での情報共有までには至っていない。	職員会議を利用して多くの課題や問題点などを話し合い、結果は会議に出席できなかった職員にも伝え、全職員で共有することを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者も現場に入り職員一人ひとりの日々の努力を把握しており資格取得の支援に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員が段階に応じたセミナーや研修を受ける機会を確保するよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協会、ケアマネージャー協会に加入し会合等で良い点、改善点等話し合う機会を作っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今現在何が不安なのかご本人の思いと希望を真剣に受け止め、安心して日常生活を送れるよう個別にコミュニケーションを図り、関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の立場に立ち求めているものの理解に努め、家族の思いを受け止める努力をし、事業所としてどのような対応が出来るか話し合っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所として本人や家族の思い、状況等を確認し出来る限りの対応に努めている また出来ない事は事業所だけで抱え込まず必要に応じて他のサービス機関につなげ早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩でもあり日常生活の中で学ぶことも多々あり、共に支えあうという思いの中で信頼関係作りに取り組んでいる		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にはご家族が利用者への面会のみで終わるのではなく職員との話し合いを短時間でも持ち、職員の思い等きめ細かく伝えることで共に支援していくという関係が出来ていると思う		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や馴染みの方がいつでも気軽に来訪出来るよう事業所内での雰囲気作りに努め、面会時にはお茶を飲みながら楽しく過ごせる時間を支援している	利用者からは日々の会話から、家族等からは来所時等に話を聴いて利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 職員は友人や知人などが来訪した際は、お茶を出して居心地よく過ごせるよう配慮したり、利用者の馴染みの店での買い物や外食、美容室のほか、墓参りなどに行きたい場合は、家族等の協力を得ながら、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルの配置を工夫したり、ソファに職員も座りコミュニケーションを図る努力をしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了しても利用者のその後の経過などを聞いたり、相談にも応じ関係性を断ち切ることなく大切にしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、現状を把握して援助が出来るよう努めている	職員は日々の支援の中で会話や表情、仕草から利用者の希望を汲み取るほか、意思疎通が困難な利用者の場合には、利用者の生活歴に基づいて日々の言動や表情などから思いや意向の把握に努め、その人らしく暮らせるよう支援している。 利用者の希望や意向を把握した際に、「申し送りノート」や「個人記録」に記載するが、日常の記録に埋もれてしまい全職員が把握するまでには至っていない。	職員が利用者の希望や意向を把握した際は、「個人記録」に記載して職員で共有することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に生活歴等をご本人、ご家族より聞き、職員が把握し本人のこれまでの馴染みの暮らし方が継続出来るよう支援している		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの出来る事出来ないことを把握し細かい点に配慮しながら、その時の利用者の状態や気持ちを理解して支援に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者がその人らしく暮らせるようご本人や、ご家族の要望を取り入れて、介護計画作成にあたっている また実現可能な計画になるよう担当者会議でモニタリングや課題となる項目を話し合っている	計画作成担当者が利用者や家族等の意向と医療関係者の意見を踏まえ、管理者や職員が参加する会議で話し合い介護計画を作成している。 2ヶ月から3ヶ月毎にモニタリングを実施し、計画を見直すとともに、利用者の心身の状態像に変化が生じた場合には、随時計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の利用者の訴えや暮らしぶりを個別に記録し、食事量・水分・排泄状況をチェックし全職員が把握できるようにしている また申し送りノート等で個別の情報共有を徹底している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いきなり入居に不安な利用者にはしばらくの間、ホームと在宅の両方の生活を提案している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームは地域の方の畑に囲まれており野菜や花を頂いたりして交流している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切にし、利用者や家族等の希望するかかりつけ医への受診の支援をしている また月1回協力医療機関の医師による往診がある 週1回訪問歯科の支援もしている	協力医療機関以外への受診を希望する場合は、家族等の付き添いを基本としているが、家族等の付き添いが困難な場合には、職員が付き添い支援をしている。 家族等が付き添った際には、日々の状況を記載したメモを渡し、受診結果は個人記録に記載して全職員で共有するとともに、職員が付き添った場合には、電話で家族等に報告している。 月1回協力医療機関の医師による訪問診療や週1回の訪問歯科診療など、利用者の健康管理を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置はしていない 為、協力医療機関と連携を取り看護師に相談し指示を仰いでいる		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご本人の援助方法に関する情報等を医療機関に提出 ご家族とも情報交換しながら職員が頻繁に見舞い、その際ご本人の状態を医師・看護師から得ている 退院後スムーズにホームにて生活出来るよう情報提供書を頂いている	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所内で出来る事出来ない事を明確にし、利用者・家族・職員と情報を共有し、月1回の協力医療機関の往診の際に医師に相談をしながら支援に取り組んでいる	事業所は看取りの経験があり、「重度化した場合における対応及び看取りに関する指針」を契約時に家族等に説明して同意を得ている。 利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度意思確認を行って看取りに関する方針を決定するとともに全職員で共有して支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは備えており応急手当の訓練は一部の職員は受けているが全職員には至っていない	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しており、消火器訓練も利用者と一緒に実施 夜間を想定した訓練も実施している 地震時も同様 11月にはスプリンクラーも設置しました	消防署立合いのもと、夜間想定を含む避難訓練を年2回実施しているが、経過や避難時間、反省点などを記録に残してはならず、地域住民の参加も得られていない。 災害に備え、食料品や水のほかに毛布、発電機などを備蓄しているが、リストを作成して賞味期限などを定期的に確認するまでには至っていない。	訓練の経過や避難時間、反省点、改善点などを全職員で話し合っって記録に残し、次回訓練に活かしながら確実な誘導へとつなげていくことを期待する。 地域住民の協力が得られるよう運営推進会議などで協力を呼びかけていくほか、備蓄品のリストを作成して定期的な確認を行なうことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した介護を心がけ支援している 特に排泄への声かけには十分に配慮しプライドを傷付けないように努めている	「人生の先輩」として人格を尊重した言葉かけを心がけ、日ごろからプライバシーに配慮した対応を行なっている。 トイレ誘導時にはさりげなく声をかけている。 個人情報ファイルは、鍵のかかる事務室の書棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や嗜好の把握に努め日常生活の中で表出出来るよう取り組んでいる		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を押し付けることの無いよう配慮し、起床や就寝など本人のペースに合わせた支援をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ホームでは町内の理美容店への支援をしている 御家族が定期的に馴染みの美容室へ連れ出し支援して下さっている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの力を活かし利用者と職員が出来る限り準備や後片付けを一緒に行っている また夏には庭に栽培している野菜を収穫し調理して楽しんでいる	毎日収穫した旬の野菜や地域住民のお裾分け食材を献立に取り入れているほか、肉やパンが苦手な利用者には代替食を用意している。 職員は利用者と同じ食事を一緒に摂り、話をしながら和やかな雰囲気ですら食事ができるよう配慮している。 手作りのおやつや彼岸にはおはぎ、敬老会には赤飯などを提供し、食事を楽しむことができるように支援している。 利用者はテーブル拭きや下膳など、できる範囲で役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量・水分量を個別に記録している また個別の食事形態を把握し、それに応じて提供している 苦手な献立等は他の献立に変えて対応している		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に義歯と自分の歯のケア 義歯には消毒、殺菌剤を使用 またスポンジで口腔ケアを実施している 週1回の訪問歯科による義歯の調整や清潔保持の為口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて個別の排泄パターンを把握 声かけ誘導を促し可能な限りトイレでの排泄を行っている	職員は利用者一人ひとりの排泄サインを把握するとともに、排泄チェック表を活用して本人に合わせたトイレ誘導や声かけ支援をしており、おむつから紙パンツへ移行した利用者もいる。 夜間はポータブルトイレで排泄ができるように支援するなど、常に排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を朝昼夜の食事の際と10時15時のおやつとの時間と摂取量を把握し一人ひとりの好む飲料や野菜の多い食事にて対応し自然排便につながるよう努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日は決まっているが利用者の状態によりシャワー浴や足浴、清拭等にて対応している 個人の希望や状態により、入浴が出来なかった利用者は1号館2号館とお互いの入浴日に入浴出来るようにしている	週2日以上午前中の中の入浴を基本としており、夏季は週4日、希望で毎日入浴ができる体制になっている。 入浴を拒む利用者には、声かけや誘導のタイミングを見計らったり職員を替えるほか、別ユニットでの入浴も可能にするなど、無理なく入浴ができるように工夫している。 柚子湯や入浴剤を使用し、入浴が楽しみなものとなるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのリズムを把握し安心して休息、睡眠出来るよう支援している 冬は湯たんぽを使用したり部屋の温度調節をし暖かく眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に服薬のファイルを作成し職員が内容を把握できるようにしている 服薬時には本人に手渡し服用を確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、洗濯物たたみ、食事の後片付けなど日課としている 利用者の力を活かした役割で生活に張り合いがもてるよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望により散歩、買い物など戸外に出掛ける支援をしている また利用者の希望で墓参りなど、家族の協力を得ながら支援している	天気の良い日には、利用者と職員で事業所周辺を散歩して五感を刺激したり、四季の移り変わりを肌で感じられるように支援している。 利用者から「買い物に行きたい」や「どこかにでかけたい」などの希望が出ると、管理者と職員で相談して外出支援に取り組み、イオンタウン水戸南やポケットファームどきどきなどに出かけている。 家族等の協力を得て、利用者の希望する馴染みの理美容室や墓参りへの外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週1回ヤクルトの訪問販売があり、自分で買うことを楽しみにしている利用者がある。また管理が困難な利用者には家族より預かり個別に使用を記入し報告している		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が掛けたい時はいつでも電話をかけられるよう対応している また家族からかかってくる場合もあるので、時には職員の方から声を掛けて促してみる時もある		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は南向きになっており、冬は暖かく利用者にとってソファは居心地の良い場所になっている 外出困難な利用者が多くなってきたので事業所内でひな人形、七夕などを飾り季節感、生活感を感じて頂けるよう努めている	居間兼食堂は、大きな窓から自然光が差し込み、テーブルや椅子、ソファが配置され、ゆっくり寛いで過ごせる空間となっている。 一角には雛人形が飾られた和室があり、利用者にとっては家族等との心和む語らいの場となっている。 トイレや浴室などはいずれも清潔に保たれ、利用者が気持ちよく過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファを置いて、くつろげるよう配置している 食堂脇には小上がりがあり、思い思いにくつろげるよう工夫している	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が馴染みの家具やテレビを置き、花が好きな利用者には、植木鉢や生花を飾り、思い思いに居心地の良いように支援している	居室にはエアコンやベッド、クローゼットを備え付けており、利用者はテレビや冷蔵庫、加湿器などの身の回り品を持ち込んでいるほか、家族写真や鉢花を飾ったり、一人ひとりの生活スタイルに合わせて居心地よく暮らせるように工夫をしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・浴室・トイレなどにプレートを掛け混乱の無いよう工夫している	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム大樹

作成日 平成27年10月 1日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	利用者や家族の参加を得るに至っていない	二ヶ月に一回実施している会議の呼びかけをする	利用者や家族の参加を呼びかけし具体的な改善課題解消に向け継続的に取り組む	12ヶ月
2	7	全職員での情報共有まで至っていない	職員会議での課題や議題を増し、全職員での情報を共有していく	出席することが出来なかった職員には会議録の写しを配布する	12ヶ月
3	9	申し送りノート 個人記載されているが全職員が把握するまでに至っていない	利用者一人ひとりの人格を尊重して、現状を把握して援助ができるようにしていく	個人記録に希望や意向を把握した時は、個人記録に細かく記入していく	12ヶ月
4	35	訓練後の良かった点反省点、課題を主題とする会議をされていない	訓練後の会議をし介護録を作成して、次に活かす	訓練後に良かった点反省点を話し合い記録する 訓練を活かし災害への対策をする	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。